

2011年6月29日

日華化学株式会社
福井市文京4-23-1

今夏の使用電力削減のための取り組みについて

日華化学株式会社（代表取締役社長：江守康昌、以下「日華化学」）は、今夏の電力供給不足懸念に対応するため、東京電力管内に所在する鹿島工場（茨城県神栖市）、関東工場（千葉県旭市）、及び北陸電力管内に所在する本社敷地内、鯖江工場（福井県鯖江市）等において、以下の通り節電対策を実施し、消費電力の前年比15%削減を目指すとともに、これを機に新しい働き方を試験的に導入することを決定しました。

今回の施策は、節電対策としてだけでなく、新しい働き方を導入することで、一人ひとりが能力を発揮し成果をあげることができ、また、より充実した生活を送るきっかけとして、まず今年実施していきます。

1. 東京電力管轄 鹿島工場・関東工場のピーク時電力使用量15%削減

電力使用制限令にてピーク時の電力使用量15%削減が求められている鹿島・関東工場の他、鯖江工場でも、①高負荷電力設備の使用についてはピーク時を避ける、②7月～9月の土曜日を稼働日にする等でピーク時の電力削減に貢献していきます。また、間引き照明、エアコン設定温度調節、構内自動販売機の削減等で節電の徹底をはかります。

2. スーパークールビズの導入（対象：7月1日～10月31日）

例年より1ヶ月早い5月からクールビズを実行していますが、今回、スーパークールビズを導入します。エアコン28度設定の徹底に対応しやすい状況を期待し、個人が働きやすい服装で仕事ができる、より自由な職場環境を作っていきます。また今後、男女の事務職の制服を廃止していきます。

3. 夏休みの増加

当初、夏期休日を8月13日～15日としていましたが、さらに営業・出荷部署においては16日・17日、それ以外の部署においては16日～19日を追加休日とします。休日を増やすことで電力需要の多い8月の月間電力使用量の15%削減を見込んでおります。

4. サマータイム制の導入（対象：7月19日～9月30日）

営業・出荷部署以外の約260名（国内勤務者の4割弱）を対象にサマータイム制を導入します。サマータイムの導入には、主に二つの目的があります。一つは節電です。就業時間を1時間早め、従来の8時30分～16時55分の勤務時間から、7時30分～15時55分とします。

これに伴い、7時30分～8時30分のエアコンオフ、昼休みと16時30分以降のエアコンオフと消灯を実施します。また、ノー残業デーも従来の第3月曜日に、毎週水曜日を追加設定します。夜の残業を減らすことで、10%の節電を目指します。

今回導入するもう一つの目的は、働き方を変え、効率をあげるきっかけを作ることです。朝夕のラッシュアワーの通勤を避けることで時間的余裕ができて、自己啓発活動等を行い、時間を有効活用することが期待できます。効率よく働いた後は本を読んだり、体力づくりに励んだり、こころ・からだ・あたまを鍛える時間として、また、家族や仲間たちとのコミュニケーションを増やしたり、趣味に費やす時間として活用し、仕事でもよりよい成果を出せるようにしていきたいと考えています。

◆本件に関するお問い合わせ先

日華化学株式会社 広報室 TEL 0776-25-8551 (直) FAX 0776-24-4103 (直)

HP : <http://www.nicca.co.jp>

以上